

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2012-176602(P2012-176602A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2011-264883(P2011-264883)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月2日(2014.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱エネルギーの作用により記録ヘッドからインクを吐出して該インクを記録媒体に付与するインク付与工程と、記録媒体に付与したインクを加熱することでインクを記録媒体に定着させるインク定着工程とを有するインクジェット記録方法であって、

該インクは、水と自己分散顔料と樹脂粒子とを含有し、該樹脂粒子は、ガラス転移温度が25以上であり、平均粒子径が70nm以上220nm以下であり、酸価が25mg KOH/g以上150mg KOH/g以下であることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項2】

前記インクが、無機酸塩及び有機酸塩から選択される少なくとも1種を含有する請求項1に記載のインクジェット記録方法。

【請求項3】

前記インク中の、前記無機酸塩及び前記有機酸塩の合計の含有量が、インク全質量に対して、0.1質量%以上5.0質量%以下である請求項2に記載のインクジェット記録方法。

【請求項4】

前記インク中の、前記樹脂粒子の含有量が、前記自己分散顔料の含有量に対して10.0質量%以上である請求項1～3のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項5】

前記樹脂粒子の含有量が、インク全質量に対して30.0質量%以下である請求項1～4のいずれか1項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項6】

前記インクが更にトリメチロールプロパンを含有する請求項1～5のいずれか1項に記

載のインクジェット記録方法。

【請求項 7】

前記インクが更に 1 , 2 - ヘキサンジオール又は 1 , 6 - ヘキサンジオールを含有する
請求項 6 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 8】

前記インクが更にノニオン性界面活性剤を含有する請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載
のインクジェット記録方法。

【請求項 9】

前記インク定着工程におけるインクの加熱を前記樹脂粒子のガラス転移温度以上の温度
で行う請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 10】

更に、前記インク中の色材を凝集する凝集剤を含む凝集液を前記記録媒体に付与する凝
集液付与工程を有する請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。